

# 春

vol.91

2025.05

# ときめき Beating Kashima 鹿島

ポラリス(北極星)を目指すには  
北極星を見分けること。  
目指すところ(方向)は一緒でも  
やり方はそれぞれ多種多様。  
一人一人の思いをエッセイの形で  
伝えたい。



院長 坂之上 一史

山の緑が目にはやさしい季節となり、鹿島病院も新入社員の皆さんを迎え新年度が無事スタートしました。

本年は病院にとって大きな事業である電子カルテシステムの更新が待っています。現在のシステムは平成18年7月に新規導入し19年が経過しようとしています。この間テクノプロジェクト様の協力でバージョンアップを繰り返し使いやすい電子カルテとなっていました。しかしマイクロソフト社がインターネットエクスプローラのサポートを終了してしまい現在のシステムを終了せざるをえなくなりました。この春から秋までをかけて新しい電子カルテシステムへの移行を通常業務と平行しながら滞りなく行いましょう。

さてほぼ全職種において人員が足りていません。医師、薬剤師は勿論、患者様、利用者様を直接看護、介護する看護師、介護士の不足は回復期、慢性期の病院にとって致命的です。昨年、一昨年と新型コロナ、インフルエンザによるクラスターが発生したときには勤務可能な職員に過剰な負担がかかりました。看護や介護分野での人材不足の改善を図るために外国人の有資格者に助けて頂くことも大きな検討課題の一つです。

令和2年に始まった新型コロナウイルス感染症により院内開催の勉強会、研究会さらには歓迎会、新年会等が開催出来ず、他の職場への関心、関与が薄くなり、多職種連携が最大の武器である鹿島病医院にとって歓迎されざる環境となっていました。復活した院内研究大会や今回の電子カルテシステムの更新等で院内のさらなる融和、連携を図って頂きたいと思います。各職種がそれぞれの専門性を発揮して他の部門へ関わっていくことが鹿島病院のさらなる充実と発展に必ず寄与すると信じています。

職員皆様にとって今年度が良い年度となることを祈っています。



院内研究発表大会 委員長 角田 智徳

第19回院内研究発表大会の会長を務めさせていただきました。鹿島文化ホールでの開催は久しぶりでしたが、発表者の皆様の準備、参加いただいた皆様のご支援のおかげで、無事に終了することができました。誠にありがとうございました。本大会が皆様にとって有意義な学びや交流の機会となっていれば幸いです。

## 審査結果



### 今！鹿島病院に求められる地域連携 (地域ニーズアンケートを実施して)

チーム名 チーム医療相談部hk2



### 鹿島病院と在宅サービス部の連携強化による 鹿島病院退院後の日常生活動作の変化項目について

チーム名 通所リハビリテーションやまゆり



### 地域包括ケア病床でのリハビリテーション ～地域包括ケア病床におけるリハビリテーションの実際と今後の課題～

チーム名 リハ 療養チーム



### 「使ってみよう！マイナ保険証」

チーム名 Myna HIC エキスパート



## 院内研究大会 1 位

医療相談部 小林 裕恵

今回の調査で、鹿島病院にはリハビリによる在宅復帰支援への強い期待とともに、医療依存度の高い方や終末期の方への対応、そして地域連携の強化が求められていることが明確になりました。特に、短期入院・レスパイト入院のニーズや、迅速な入院受け入れ、情報共有の重要性は今後の課題です。今回の結果を真摯に受け止め、「患者さんのためになるか」という原点を忘れず、地域の皆様との連携を深めながら、鹿島病院がより一層地域に貢献できるよう努力をしていきたいと考えます。ありがとうございました。



## 松江赤十字病院大居慎治院長の講演会を終えて

院内研究発表大会 副委員長 田中 優

今回は「地域医療のこれから」をテーマに、地域医療構想についての今後の流れや課題についてご講演頂きました。団塊の世代の高齢化が進み、医療のニーズが増える一方、その担い手減少に対する国の方針や医療の財源の確保、日本の社会保障システムの特徴など、ご自身の考えや芸能人の話など、具体的な話を交えながらお話して頂き大変勉強になりました。

この度の講演会に参加し、今後広い視野をもって地域医療の課題に向き合っていければと感じました。貴重な機会を与えて頂き有難う御座いました。

### 職員感想



坂之上史院長



松江赤十字病院  
大居慎治院長

検査部 臨床検査科 野田 以登子

今回のテーマである「Post Acuteを担当する私たち」の仕事への取り組み方を発表内容から感じ取ることができました。そして、演者の堂々たる姿や発表内容の充実、座長の対応など発表大会の成長がみられたと思います。また、大居先生のご講演からはAcuteの日赤とPost Acuteの鹿島病院との役割分担、連携の必要性を痛感しました。鹿島病院に来ていただく患者様、ご家族様に温かい医療を提供できるように日々努力していかなばと思った次第です。



院内研究大会の様子

看護部 金坂 晴美

発表はアンケート調査、データをもとにまとめられており、大変学びとなる研究大会でした。鹿島病院の役割や今後の課題なども再確認できました。委員の皆様、準備等お疲れ様でした。



山崎悟理事長挨拶

事務部 医事課

今回入社して2回目の院内研究への参加でした。

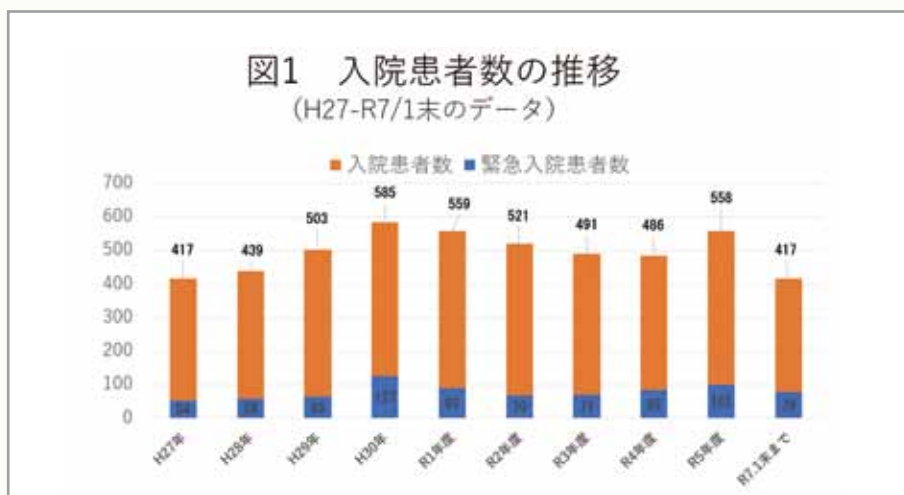
普段他の部署と接することが少ないこともあり、院内研究の場は他の部署の仕事を垣間見る機会としてもとても充実した内容でした。

今回参加された職員がいつもより少ないといった声も聞きました、家の都合等で中々参加が難しい方も多いと思いますがコロナ過を経て数少ない交流の場でもあると思うので今後参加人数が増えると良いなと思いました。

高齢化が進む現代において、医療機関は地域社会との連携を強化し、住民のニーズに応じた役割を担うことが不可欠です。鹿島病院では、地域の皆様からのご要望を把握するため、昨年12月から今年1月にかけて橋北地域の26の医療・介護事業所を対象にアンケート調査を実施しました。今回は、その結果の概要を報告します。

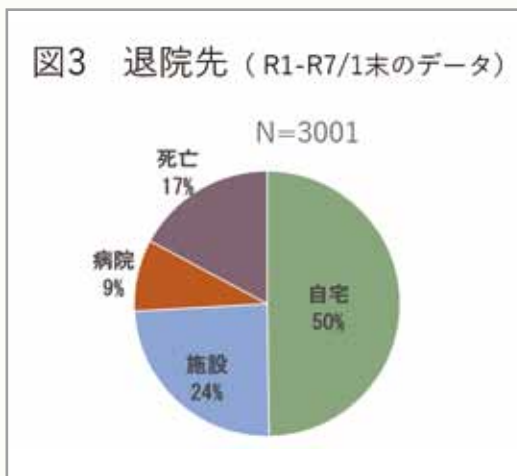
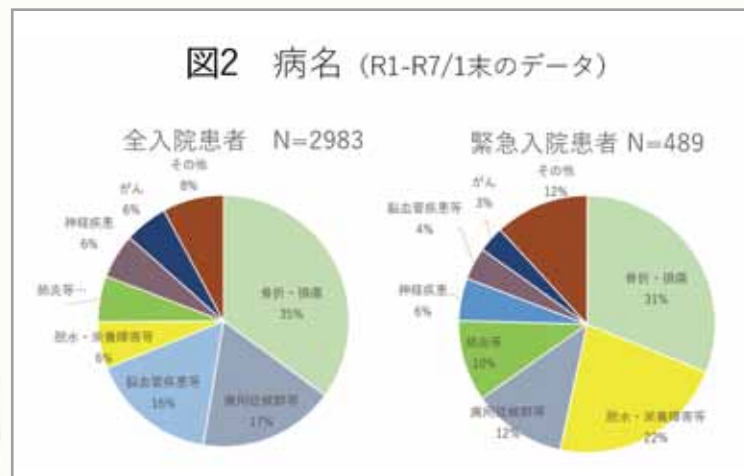
### 鹿島病院の現状と入院患者の傾向

当院への入院経路は、主に急性期病院からの計画的な転院と、在宅・施設からかかりつけ医を経ての緊急入院の2つです。10年間の入院患者数の推移を見ると、約85%が急性期病院からの入院、約15%が在宅・施設からの緊急入院となっています。(図1)



疾患別に見ると、全入院患者では「骨折・損傷」や「廃用症候群」が多く、急性期病院からの入院患者も同様の傾向です。一方、在宅・施設からの緊急入院では「骨

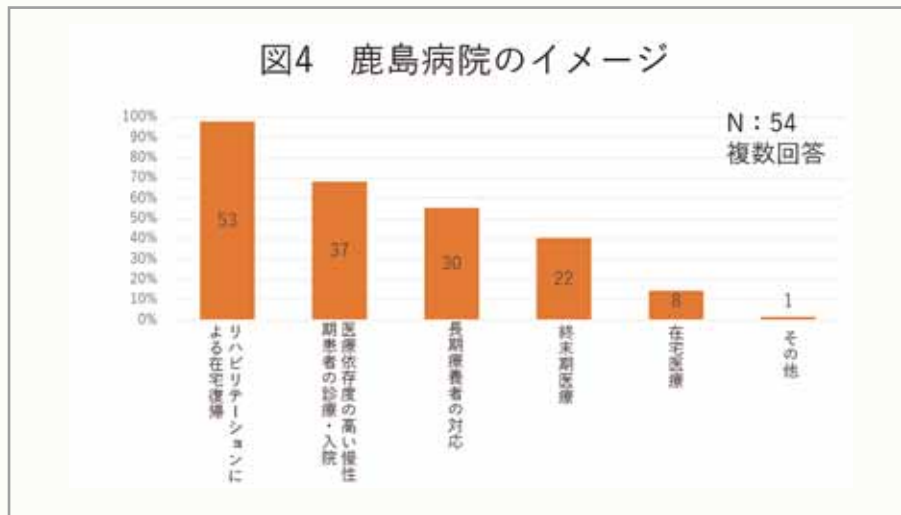
折・損傷」に次いで「脱水・栄養障害」が多くなっています。(図2) 退院先は、約74%が自宅または施設となっています。(図3)



## 地域ニーズアンケート調査結果

54名のケアマネジャー、社会福祉士、生活相談員の方々にご回答いただいたアンケートでは、鹿島病院に対して「リハビリテーションによる在宅復帰」のイメージが最も強く持たれていることがわかりまし

た。また、「医療依存度の高い慢性期患者の診療・入院」や「長期療養者の対応」への期待も大きい一方、「終末期医療」や「在宅医療」のイメージは相対的に低い結果でした。(図4)



自由記述では、以下のようなニーズが具体的に示されました。

- **リハビリテーション**：在宅復帰に向けたリハビリの強化、家族への介助指導のニーズ。
- **医療依存度の高い患者**：急性期後の医療管理が必要な患者の受け入れニーズ。
- **在宅生活困難者**：レスパイト入院や、在宅生活継続が困難な方の受け入れニーズ。
- **終末期医療**：在宅や施設での療養が難しい方の受け入れニーズ。
- **機能拡充への要望**：短期入院・レスパイト入院の拡充、往診・送迎サービスの強化、医療・介護機関間の情報共有の促進、迅速な入院受け入れ、看取りまで含めた一貫した対応への期待。

## 今後の鹿島病院の役割

今回の調査を通じて、鹿島病院はこれまで地域において、リハビリテーションによる在宅復帰支援という重要な役割を担ってきたことが再確認できました。同時に、医療依存度の高い患者さんや終末期医療への対応、短期入院・レスパイト入院のニーズ、そして地域医療・介護機関との連携強化といった、今後の課題も明確になりました。

高齢化が進む中、医療機関には変化への対応が求められますが、常に「患者さんのためになるのか」という視点を持ち続けることが重要です。今回の調査結果を真摯に受け止め、地域の皆様の声に応えられるよう、鹿島病院は地域社会との連携をより一層深め、地域に貢献できる病院を目指します。今後ともご理解ご協力をお願いします。



## 4階病棟での取り組み

認知症看護認定看護師 喜井 亜祐子

今回は4階病棟で行っている認知症ケアの一部をご紹介します。

認知症ケアに『ドールセラピー』というものがあります。これはぬいぐるみや人形を使って、認知症の人が自分らしく楽しいライフスタイルを送れるように手助けをする方法の一つです。ドールセラピーには感情に働きかける効果と、周囲の人とのコミュニケーションにつながる効果があります。赤ちゃんの人形をあやすことで安心し、落ち着いて過ごすことができるようになった事例が多くあります。また動物のぬいぐるみを撫でることで心が穏やかになり、BPSDなどの症状改善につながることもあります。また、人形やぬいぐるみを使うことで他者とのコミュニケーションのきっかけにもなります。それを目的に、人形を購入してもらいました。



この人形はみいちゃんといって、歌を歌ったり、声かけに対して様々なパターンで返答をしてくれます。日にちを覚えてくれたりもします。



普段表情がたたく、口数の少ない患者様がみいちゃんには積極的に話しかけたり、ニコッと笑いかけるなどの変化がありました。



この猫のぬいぐるみは背中を触ると鳴きます。先日患者様と職員に名前を募集しました。患者様から様々な案が出ました。その名前を考えることもコミュニケーションの一つとなり、とても盛り上がりました。



猫が好きな患者様は膝に乗せているだけで落ち着くようです。ドールセラピーはとても効果的な認知症ケアの一つですが、注意しないといけないこともあります。認知症の人はとても繊細で敏感です。その人形が壊れてしまった時に精神的なショックを受けてしまうことがあります。ペットロスのような状況になることもありますので、予備を準備するなどの対策は必要です。



その他にも毎日日にちを大きく書き、その日のイベントや出来事を書いたり、季節に合わせた飾りを作って貼り付けるなど、病棟職員とセラピストが様々な工夫を凝らしています。

※簡単にできるリアリティ・オリエンテーションです。ぜひ参考にしてみてください。

# 通所リハビリやまゆり トピックス

## 新しい 訓練機器を 導入しました

通所リハビリでは、新しい訓練機器として「上肢エルゴザイザー」を導入しました。

両手でハンドルを回す訓練機器で、両上肢の動きの改善や筋力を鍛えることができます。上肢機能の強化による日常生活動作の改善が期待されます。



## 春の創作

利用者さまと職員で、桜の壁画を作成しました。部屋の一角に大きな桜が咲き、屋内でも春を感じることができます。



## 通所リハビリ 基本理念 兼 キャッチフレーズ

あなたの「人生の楽しみ」を応援します

1. 医療とリハビリで健康な体を作り、あなたらしい人生の楽しみをサポートいたします
2. 利用者さまと職員にとって人生の楽しみと感じられる時間を提供します

★令和7年度も基本理念を基に、リハビリの充実と、職員・利用者さまと一緒に楽しい時間を過ごせるようサービスの向上に努めてまいります。



## 公に会事業報告 (R7年1月～R7年3月) ※退院日は除く

延べ入院患者数=24時現在入院 延べ外来患者数=外来来日数

### 鹿島病院 ①外来

| (診療日数90日) | 1日平均患者数     |
|-----------|-------------|
| 延べ外来患者数   | 878人 9.7人/日 |

### ②病棟 2F特殊疾患病棟

| (診療日数90日)      | 1日平均患者数        |
|----------------|----------------|
| 延べ入院患者数        | 4,985人 55.3人/日 |
| レスピレーター装着延べ患者数 | 1,340人 14.8人/日 |
| ①有酸素等の重症障害     | 700人 7.7人/日    |
| ②重度意識障害        | 1,949人 21.6人/日 |
| ③神経難病          | 1,622人 18.0人/日 |
| ④筋ジストロフィー      | 0人 0.0人/日      |

|                                     |       |
|-------------------------------------|-------|
| 3か月間の特殊疾患対象患者割合                     | 82.7% |
| 3か月間の特殊疾患対象患者割合=1日平均対象患者数÷1日平均入院患者数 |       |

### 3F回復期リハ病棟

| (診療日数90日)     | 1日平均患者数        |
|---------------|----------------|
| 延べ入院患者数       | 4,390人 48.7人/日 |
| 回復期リハ病棟対象患者割合 | 98.0%          |
| 平均リハ提供単位数     | 5.1            |

患者重症度指数 強化項目 リハビリ数

|                        |            |
|------------------------|------------|
| 直近6か月間の新規入院患者   重症者の割合 | 116人 55.1% |
| 直近6か月間の在宅に退院した患者の割合    | 85.7%      |
| 直近6か月間の重症改善率           | 73.8%      |
| 直近6か月間のアウトカム実績指数       | 53.3点      |

### 4F療養病棟

| (診療日数90日) | 1日平均患者数        |
|-----------|----------------|
| 延べ入院患者数   | 2,208人 24.5人/日 |

|                              |       |
|------------------------------|-------|
| 直近3か月間の医療区分2・3の患者割合          | 93.9% |
| 直近3か月間の医療区分2・3の患者割合=レセプト実績日数 |       |

|                           |       |
|---------------------------|-------|
| 直近6か月間の在宅に退院した患者の割合(4F全体) | 83.7% |
|---------------------------|-------|

### 4F地域包括ケア病棟

| (診療日数90日)             | 1日平均患者数        |
|-----------------------|----------------|
| 延べ入院患者数               | 2,494人 27.7人/日 |
| A・C項目患者の割合            | 20.8%          |
| 平均リハ提供単位数             | 2.5            |
| 直近3か月間の自宅等から入院した患者の割合 | 33.7%          |
| 直近3か月間の自宅等からの緊急入院受入れ数 | 24人            |
| 直近6か月間の在宅に退院した患者の割合   | 81.3%          |

## 在宅サービス部

### ①通所リハビリ“やまゆり”

| (稼働日数74日)    | 1日平均利用者数       |
|--------------|----------------|
| 通所リハビリ延べ利用者数 | 2,429人 32.8人/日 |
| 短期集中リハビリ実施数  | 654単位 8.8単位/日  |

### ②訪問リハビリ“つばさ”

| (稼働日数57日)    | 1日平均利用者数     |
|--------------|--------------|
| 訪問リハビリ延べ利用者数 | 32人 0.6人/日   |
| 訪問リハビリ延べ単位数  | 69単位 1.2単位/日 |

### ③訪問看護“いつくしみ”

| (稼働日数57日)       | 1日平均利用者数    |
|-----------------|-------------|
| 訪問看護延利用者数(医療)   | 218人 3.8人/日 |
| 訪問看護延利用者数(介護)   | 430人 7.5人/日 |
| 訪問看護延利用者数(リハビリ) | 222人 3.9人/日 |

### ④鹿島病院やまゆり居宅介護支援事業所

| (稼働日数57日)    | 月平均策定数       |
|--------------|--------------|
| 延べケアプラン策定数   | 286人 95.3人/月 |
| 延べ介護予防ケアプラン数 | 201人 67.0人/月 |



# クリニカル・インディケーター

## I 病院全体

[ 病床利用率(%) =  $\frac{24\text{時現在の患者数}}{\text{病床数}} \times 100$  ]

(R6年7月～R6年12月)

### 1 病床利用率

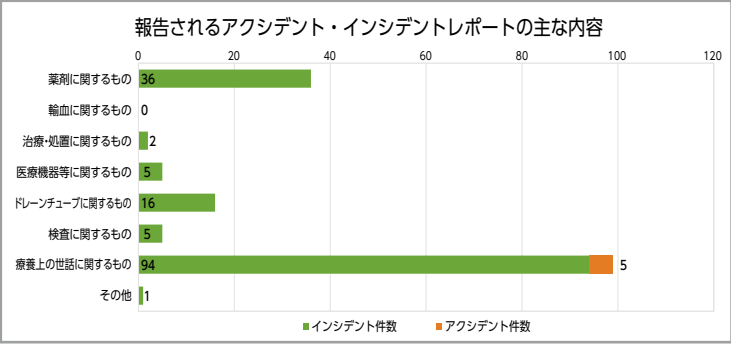
|          | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 平均    |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 特殊疾患病棟   | 95.1% | 96.8% | 98.3% | 96.1% | 93.8% | 93.9% | 95.7% |
| 回復期リハ病棟  | 88.4% | 88.5% | 87.1% | 79.4% | 76.1% | 81.4% | 83.5% |
| 療養病棟     | 87.0% | 89.2% | 90.5% | 84.3% | 85.1% | 97.9% | 89.0% |
| 地域包括ケア病棟 | 89.5% | 90.5% | 87.3% | 84.8% | 83.9% | 85.9% | 87.0% |

### 2 平均在院日数

|          | 7月   | 8月   | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   |
|----------|------|------|-------|-------|-------|-------|
| 特殊疾患病棟   | 962日 | 814日 | 1068日 | 1531日 | 3497日 | 1492日 |
| 回復期リハ病棟  | 84日  | 92日  | 100日  | 91日   | 80日   | 67日   |
| 療養病棟     | 113日 | 128日 | 218日  | 252日  | 192日  | 164日  |
| 地域包括ケア病棟 | 42日  | 45日  | 43日   | 40日   | 41日   | 57日   |

### 3 医療安全管理 報告されるアクシデント・インシデントレポートの主な内容

|                | アクシデント件数<br>(件/年) | 総数に<br>占める割合 | インシデント件数<br>(件/年) | 総数に<br>占める割合 |
|----------------|-------------------|--------------|-------------------|--------------|
| 薬剤に関するもの       | 0件                | 0.0%         | 36件               | 22.6%        |
| 輸血に関するもの       | 0件                | 0.0%         | 0件                | 0.0%         |
| 治療・処置に関するもの    | 0件                | 0.0%         | 2件                | 1.3%         |
| 医療機器等に関するもの    | 0件                | 0.0%         | 5件                | 3.1%         |
| ドレーンチューブに関するもの | 0件                | 0.0%         | 16件               | 10.1%        |
| 検査に関するもの       | 0件                | 0.0%         | 5件                | 3.1%         |
| 療養上の世話に関するもの   | 5件                | 100.0%       | 94件               | 59.1%        |
| その他            | 0件                | 0.0%         | 1件                | 0.6%         |
| 計              | 5件                | 100.0%       | 159件              | 100.0%       |



## II 病棟機能

### 1 回復期リハビリテーション病棟

【疾患別平均入院日数】

| 疾患別            | 疾患別<br>延入院日数 | 疾患別<br>患者数 | 疾患別<br>平均入院日数 |
|----------------|--------------|------------|---------------|
| 骨折、損傷等         | 4,113日       | 58人        | 70.9日         |
| 脳血管疾患等         | 4,580日       | 39人        | 117.4日        |
| 脊椎、脊髄の疾患       | 624日         | 10人        | 62.4日         |
| 股関節または膝関節の置換術後 | 124日         | 2人         | 62.0日         |
| 廃用症候群          | 73日          | 2人         | 36.5日         |
| 義肢装具訓練を要する状態   | 26日          | 1人         | 26.0日         |
| 総 計            | 9,540日       | 112人       | 85.2日         |

【FIM運動改善状況】

※回復期リハ実績指数対象者

|             | 実施前(平均) | 退院(棟)時(平均) | 変化値(平均) |
|-------------|---------|------------|---------|
| 脳血管障害に関するもの | 38.1    | 69.1       | 31.0    |
| 廃用症候群に関するもの | 20.0    | 32.0       | 12.0    |
| 運動器疾患に関するもの | 33.9    | 71.0       | 37.1    |

【FIM認知改善状況】

※回復期リハ実績指数対象者

|             | 実施前(平均) | 退院(棟)時(平均) | 変化値(平均) |
|-------------|---------|------------|---------|
| 脳血管障害に関するもの | 20.6    | 25.6       | 5.0     |
| 廃用症候群に関するもの | 14.0    | 22.0       | 8.0     |
| 運動器疾患に関するもの | 24.1    | 27.0       | 2.9     |

【在宅復帰率】

※回復期リハ病棟の在宅復帰率に基づいて算出

|                                      |       |
|--------------------------------------|-------|
| 在宅復帰率                                | 87.0% |
| 分子：回復期リハ病棟から在宅<br>(自宅・居住系施設)へ退院した患者数 | 87人   |
| 分母：回復期リハ病棟から退院した患者数                  | 100人  |

### 2 療養病棟

【在宅復帰率】

※療養病棟の在宅復帰率に基づいて算出

|                                   |       |
|-----------------------------------|-------|
| 療養病棟の在宅復帰率                        | 82.5% |
| 分子：療養病棟から在宅<br>(自宅・居住系施設)へ退院した患者数 | 71人   |
| 分母：療養病棟を退院した患者数                   | 86人   |

### 3 地域包括ケア病棟

【疾患別平均入院日数】

| 主な疾患別     | 疾患別延入院日数 | 疾患別患者数 | 疾患別平均入院日数 |
|-----------|----------|--------|-----------|
| 感染症等      | 20日      | 1人     | 20.0日     |
| がん        | 493日     | 14人    | 35.2日     |
| 脱水症等      | 586日     | 14人    | 41.9日     |
| 神経疾患      | 349日     | 7人     | 49.9日     |
| 脳血管疾患、心疾患 | 611日     | 15人    | 40.7日     |
| 肺炎等       | 596日     | 16人    | 37.3日     |
| 消化器疾患     | 81日      | 1人     | 81.0日     |
| 褥瘡        | 72日      | 1人     | 72.0日     |
| 廃用症候群等    | 1,411日   | 32人    | 44.1日     |
| 尿路感染症等    | 410日     | 9人     | 45.6日     |
| 骨折、損傷等    | 526日     | 13人    | 40.5日     |
| 総 計       | 5,155日   | 123人   | 41.9日     |

【在宅復帰率】

※地域包括ケア病棟の在宅復帰率に基づいて算出

|                                       |       |
|---------------------------------------|-------|
| 在宅復帰率                                 | 81.4% |
| 分子：地域包括ケア病棟から在宅<br>(自宅・居住系施設)へ退院した患者数 | 79人   |
| 分母：地域包括ケア病棟から退院した患者数                  | 97人   |

## III 在宅機能

### 1 通所リハビリテーション

【当院退院患者の通所リハビリ利用後のFIM改善状況】

|            | 脳血管障害に関するもの | 廃用症候群に関するもの | 運動器疾患に関するもの | 呼吸器疾患に関するもの | 全体   |
|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------|
| 退院時(n)     | 6           | 2           | 14          | 1           | 23   |
| 退院時(平均)    | 90.5        | 74.5        | 98.4        | 72.0        | 93.1 |
| 2週間(n)     | 4           | 1           | 14          | 1           | 20   |
| 2週間(平均)    | 86.5        | 97          | 98.6        | 65.0        | 94.5 |
| 2週間変化値(平均) | -2.5        | 43          | 0.3         | -7.0        | 1.5  |
| 3か月(n)     | 2           | 0           | 10          | 0           | 12   |
| 3か月(平均)    | 83.5        | 0.0         | 104.5       | 0.0         | 101  |
| 3か月変化値(平均) | 0           | 0           | 1.40        | 0           | 1.2  |

【在宅からの紹介による入院件数】

|      | 在宅からの<br>入院 | 当院外来<br>(再掲) | 病院・老健<br>からの入院 | 在宅からの<br>入院割合<br>(%) |
|------|-------------|--------------|----------------|----------------------|
| 2F病棟 | 0件          | 0件           | 6件             | 0.0%                 |
| 3F回復 | 18件         | 2件           | 87件            | 17.1%                |
| 4F病棟 | 3件          | 1件           | 10件            | 23.0%                |
| 4F地域 | 30件         | 8件           | 80件            | 27.2%                |
| 計    | 51件         | 11件          | 183件           | 21.7%                |



### 新入職員を紹介します

50音順

- ①部署・職種 ②趣味・特技は何ですか？  
③好きなもの・好きなことを教えてください。  
④一言ご挨拶をお願いします。

#### 石倉 都

- ①訪問看護・看護師
- ②登山・散歩・お菓子作り
- ③食べること
- ④ずっと病棟勤務で訪問は初めての経験なので緊張していますが早く慣れて働けるよう頑張ります！よろしくお願いします。

#### 大掛 博之

- ①リハビリテーション科 作業療法士
- ②キャンプ・パソコン
- ③温泉・コーヒー
- ④患者様のお気持ちに寄り添ったリハビリテーションを心がけていきたいと思います！よろしくお願いします！

#### 加藤 菜美

- ①看護部4階病棟・看護師
- ②裁縫
- ③ドラマ・アニメ・マンガ鑑賞!!
- ④自然豊かな鹿島のエネルギーをもらい、地域の皆さまに心温かい医療を提供していきたいです。これからよろしくお願いします。

#### 加藤 めぐみ

- ①在宅サービス部 通所リハビリテーション 准看護師
- ②ショッピング・ドライブ
- ③柴犬・ラーメン
- ④正看護師の資格取得を目指し、学業・仕事ともに精進していきたいと思っています。よろしくお願いします。

#### 品川 佐貴子

- ①看護部4階病棟・看護師
- ②温泉とサウナ
- ③コーヒーが好きです
- ④1日でも早く仕事に慣れるように頑張りたいと思います。よろしくお願いします。致します。

#### 原 陽愛

- ①看護部4階病棟・看護師
- ②ショッピング・旅行
- ③ご飯屋巡り
- ④新卒で分からないことだらけですが精一杯頑張ります！一日でも早く業務に慣れていきたいです。よろしくお願いします。

#### 古岡 杏

- ①訪問看護・看護師
- ②ドライブ・映画鑑賞
- ③カラオケ・遠出すること・海に行くこと
- ④訪問看護師として勤務するのは初めてなので、分からないことばかりでドキドキですが、精一杯頑張ります。よろしくお願いします。

#### 細溝 由里

- ①看護部2階病棟 介護福祉士
- ②旅行・音楽鑑賞
- ③ドライブ・食べること
- ④介護施設での勤務経験はありますが、病院での勤務は初めてですので、分からないことも多いと思いますが、早く仕事に慣れるよう頑張りますので、宜しくお願いします。

#### 宮内 歩実

- ①看護部2階病棟・看護師
- ②カフェ巡り ③食べること
- ④新卒で不安と緊張で一杯ですが、日々学習しながら頑張ります。患者様やご家族様に信頼される看護師を目指し努力していきます。よろしくお願いします。

#### 持田 未央

- ①看護部2階病棟・看護師
- ②趣味：ドライブ、買い物をして、アニメを見たりすることです。特技：剣道、卓球です。(スポーツは好きです。)
- ③好きな物：アクセサリー、アイスです。好きなこと：色々たくさんあります。
- ④新しい環境下で、引き続き病棟での勤務となりますので、コミュニケーションを取りながらスタッフの一員として精一杯がんばります。よろしくお願いします。

#### 山根 善美

- ①在宅サービス部 通所リハビリテーション 介護福祉士
- ②農作業・アウトドア (キャンプ・釣り・カヤック)
- ③ライブ・コンサートに行く事
- ④早く職場に慣れていける様に頑張ります。よろしくお願いします。





# 医療法人財団公仁会中期ビジョン2025

医療・介護が一体となり、リハビリテーションを柱としたサービスを展開し、急性期病院をはじめとする医療機関・介護事業所・行政機関との連携を軸に、橋北地区の地域包括システムを支える。

## <ビジョン策定の主旨>

橋北地域における地域包括ケアシステムの中核病院として、入院・外来医療と介護サービスの質の向上と継続的提供のため中期ビジョンを策定する。

## <本計画の期間>

この計画は2025年4月から2028年3月までの3年間の期間とする。

## 1. 良質な回復期・慢性期医療

### (1)回復期医療

回復期リハビリ病棟と地域包括ケア病床でのリハビリテーションの更なる充実と外来リハビリ、通所リハビリ、訪問リハビリの密な連携により地域の回復期医療を担っていく。

### (2)慢性期医療

特殊疾患病棟・医療療養病棟で長期入院を要する患者に対し、地域包括ケア病床で高齢患者に準急性期医療を提供することで地域の慢性期医療を担う。

### (3)質の高いリハビリテーション

リハビリ療法士の数的充足のみでなく個々の療法士の質的向上を図り、医療機関との連携を図る。

### (4)外来・訪問診療

訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、通所リハビリとの連携で外来診療・訪問診療を効果的に運営する。

## 2. 在宅生活を支える医療・介護

### (1)良質な在宅医療

患者にとって「安心を支える在宅医療」を促進するため、外来・訪問診療と訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所との連携を一層進める。

### (2)良質な在宅支援サービス

在宅サービス部門が一体となり、利用者目線での質の高いサービスの提供を目指す。

## 3. 地域連携・地域貢献

### (1)病病連携、病診連携、地域連携（県・市・保険・福祉・介護・地区）

松江圏域の医療連携協定や介護保険施設との連携、その他の多方面との連携により、安心で安全な地域完結型医療の実現を目指す。

### (2)予防医療や介護技術を地域へ普及

地域住民への啓発活動や医療・介護関連職種向けの勉強会を通じて、地域に積極的に知識を還元する。

### (3)地域への情報発信

病院の機能や在宅サービス機能、治療成績、行事等

についてホームページや広報誌等を活用して、積極的に情報発信を行い、公仁会のブランド力を高める。

## 4. 医療安全・院内感染対策

### (1)医療安全

医療・介護サービスを提供する全ての方へ医療安全を担保することは前提条件であり、日常から緊張感をもって業務改善に努める。

### (2)院内感染対策

院内感染防止対策委員会の活動充実に加え、感染管理認定看護師を配置することにより、感染防止と予防教育のレベルアップを図る。

## 5. 医療サービスの質の改善

### (1)委員会活動の活性化

委員会活動をはじめとする院内の横断的組織活動を活性化させ、より深化した改善活動を実践する。

### (2)臨床指標（Clinical Indicator）の活用

当院のアウトカムである在宅患者受入率や在宅復帰率、リハ効率、医療区分割合、医療看護必要度、訪問看護必要度、訪問診療回数などを院外に積極的に発信していく。

### (3)患者満足度向上の組織的取組み

苦情・要望に対する真摯な対応によりサービスの改善を図り、組織の成長につながる対策を講じていく。

### (4)施設・設備・環境の整備と充実

患者のQOLに資すること、並びに職員の働きやすい環境の整備を計画的に進める。

## 6. 人材の育成と確保

### (1)人材の育成

院内研究の活性化や積極的に外部研修派遣を行い、次代を担う人材の育成を図る。

### (2)人材の確保

外国人労働者の採用等、採用の多様化を進めることで病院の安定運営に必要な人材を確保する。

### (3)働きやすい環境の整備

従業員エンゲージメントの向上につながる働きやすい職場・働き甲斐のある職場を目指す。

### (4)学生の受入れ

学生実習の積極的受入れを行い職員のレベルアップを促すとともに、採用機会を増やす取組みを行う。

## 7. 医療DXの推進とスキルアップ

電子カルテの更新を円滑に行うとともに、業務の省力化と職員のスキルアップを進めることで生産性の向上を図っていく。

## 編集後記

第19回院内発表大会が3月23日におこなわれました。

町内の鹿島文化ホールでの開催は10年ぶりとなりました。

午後からは松江赤十字病院院長大居慎治先生の講演で今後の地域医療について示唆していただき再確認することができました。



広報委員会

■編集・発行・責任者：広報委員会委員長

医療法人財団公仁会 〒690-0803 島根県松江市鹿島町名分243-1  
e-mail ksm@kashima-hosp.or.jp http://www.kashima-hosp.or.jp/

鹿島病院 TEL(0852)82-2627(代) FAX(0852)82-9221

訪問看護ステーション(いつくしみ) TEL(0852)82-2640

やまゆり居宅介護支援事業所 TEL(0852)82-2645

通所リハビリテーション(やまゆり) TEL(0852)82-2637

訪問リハビリテーション(つばさ) TEL(0852)82-2637

■印刷元 柏村印刷株式会社